令和三年度 夏季特別展

大加州刀展

2021 7/22(木・祝)▸9/12(日)

前期 7/22(木・祝)～8/17(火)　後期 8/19(木)～9/12(日)
休室日 8/18(水)（展示替えのため）

いしかわ赤レンガミュージアム
石川県立歴史博物館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

https://www.daikashutouten2021.com

発行／大塚巧藝社

歴史散歩

前田家・加州刀ゆかりの地めぐり MAP

石川県立歴史博物館での
「大加州刀展」開催を記念し、
金沢市内の前田家・加州刀ゆかりの地をご紹介。
展覧会を通じて
金沢の魅力をより知っていただければ幸いです。

＊各施設の定められたルールにのっとり見学および参拝のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

©2015 EXNOA LLC/Nitroplus

散歩歴史 前田家・加州刀 ゆかりの地めぐり

前田家ゆかりの地

E 尾山神社
おやまじんじゃ

金沢市尾山町11-1

北陸鉄道バス「南町・尾山神社前」より徒歩約3分

加賀藩祖・前田利家と正室お松の方を祀る。隠居した藩主等の居所であった「金谷御殿」跡に建ち、全国的にも珍しい和漢洋の3つの建築様式が用いられた「神門」で有名。

写真提供：金沢市

F 金沢城公園
かなざわじょうこうえん

金沢市丸の内1-1

北陸鉄道バス「兼六園下・金沢城」より徒歩約5分

金沢城公園は、加賀藩前田家の居城跡につくられた。2001年に古絵図や古文書などをもとに当時の姿を忠実に再現された菱櫓（ひしやぐら）、五十間長屋（ごじっけんながや）、橋爪門続櫓（はしづめもんつづきやぐら）は必見。

写真提供：金沢市

G 兼六園
けんろくえん

金沢市兼六町1

北陸鉄道バス「兼六園下・金沢城」より徒歩約3分

水戸偕楽園、岡山後楽園とならぶ日本三名園の1つ。加賀藩歴代藩主により、長い歳月をかけて形づくられた江戸時代の代表的な大名園。

写真提供：金沢市

H 成巽閣
せいそんかく

金沢市兼六町1-2

北陸鉄道バス「県立美術館・成巽閣」より徒歩約1分

成巽閣は、加賀前田藩13代藩主・前田斉泰が母・眞龍院のために、兼六園に建てた隠居所。

写真提供：金沢市

I 金澤神社
かなざわじんじゃ

金沢市兼六町1-3

北陸鉄道バス「県立美術館・成巽閣」下車すぐ

加賀藩11代治脩が、加賀藩の藩校の鎮守として勧請した天満宮を前身とする。12代斉広の時に竹沢御殿（現兼六園）の鎮守として整備された。

写真提供：金沢市

K 宝円寺
ほうえんじ

金沢市宝町6-14

北陸鉄道バス「小立野」より徒歩約8分

初代利家が建立した寺院。藩主一族の位牌が安置された前田家の菩提寺。「白山吉光」はもともと前田家4代光高の正室・大姫（清泰院）の婚礼時の持参品だが、この大姫の位牌も安置されている。

写真提供：金沢市

L 天徳院
てんとくいん

金沢市小立野4-4-4

北陸鉄道バス「天徳院前」より徒歩約3分

小立野にある曹洞宗の寺院。前田家3代利常の正室・珠姫（天徳院）の菩提寺である。院号は加賀藩主前田利常の正室珠姫の法号である天徳院殿 乾運淳貞 大禅定尼にちなんでいる。

写真提供：金沢市

N 野田山墓地
のだやまぼち

金沢市野田町墓地

北陸鉄道バス「野田町」より徒歩約5分

野田山墓地は、金沢市の南東部の丘陵にあり現在も多くの墓がある。その始まりは、前田利家の遺言で野田山に墓を作られたことによる。その後、藩主前田家一族の墓が作られ藩政期には「御廟所」とされた。

写真提供：金沢市

歴史散歩MAP

石川県立歴史博物館
いしかわけんりつれきしはくぶつかん

石川の歴史と文化を紹介する博物館。博物館の赤レンガ建物3棟は、かつて陸軍兵器庫、戦後は金沢美術工芸大学として使用されており、現在は国の重要文化財に指定されている。
7/22～9/12の期間南北朝時代から明治時代まで、約80点の加州刀を系譜別、年代別に展示し、その歴史と魅力を紹介する「大加州刀展」を開催中。
本展覧会では、PCブラウザ&スマホアプリゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」とのコラボレーション企画を実施中。

大加州刀展 × 刀剣乱舞 × 散歩歴史 前田家・加州刀 ゆかりの地めぐり

加州刀ゆかりの地

A 久昌寺
きゅうしょうじ

金沢市堀川新町7-50

JR金沢駅より徒歩約5分

兼若と陀羅尼系刀工松戸家の墓所。兼若はもと近隣にあった大巌寺が菩提寺だが、記録によると明治32年（1899）時点で既に久昌寺に墓が存在したようだ。

写真提供：石川県立歴史博物館

B 安江八幡宮
やすえはちまんぐう

金沢市此花町11-27

JR金沢駅より徒歩5分

鍛冶町に鎮座する神社で、周辺に住む刀鍛冶たちの崇敬を集めていた。彼らが技の伝授をこの神社で行ったことから、「鍛冶八幡」とも呼ばれている。

写真提供：石川県立歴史博物館

C 鍛冶町
かじまち

金沢市此花町
1・7・8・11丁目

**此花町、本町1丁目、彦三町1丁目、安江町、笠市町
JR金沢駅より徒歩約8分**

前田利常が作った町で、兼若や陀羅尼系・泰平など江戸時代前期の刀工たちの住まいがあった。時代と共に住人は変わったが、江戸後期の八代目木下兼久・甚太郎や陀羅尼系六代勝国・松戸善太郎らは此花町1丁目の乗善寺の並びに居を構えていた。

写真提供：石川県立歴史博物館

D 光覚寺
こうかくじ

金沢市山の上町5-1

北陸鉄道バス「森山」より徒歩約3分

陀羅尼系の刀工、国平代々の菩提寺。
墓所非公開。

写真提供：石川県立歴史博物館

J 浄照寺
じょうしょうじ

金沢市中央通町5-22

北陸鉄道バス「片町」より徒歩約8分

清光の菩提寺で、歴代の眠る墓がある。墓碑にはかつて「貞享4年」の銘があったが、現在は風化して読めない。墓碑自体は時代的に六代目と目される長兵衛のものと推測される。

写真提供：石川県立歴史博物館

M 清光碑
きよみつひ

金沢市笠舞1丁目5-15

北陸鉄道バス「笠舞一丁目」より徒歩約3分

加賀藩の救済施設があった付近で、記念碑が立っている。江戸前～中期に長兵衛・長右衛門・長兵衛の三代がここに住み、作刀を行った。

写真提供：石川県立歴史博物館